

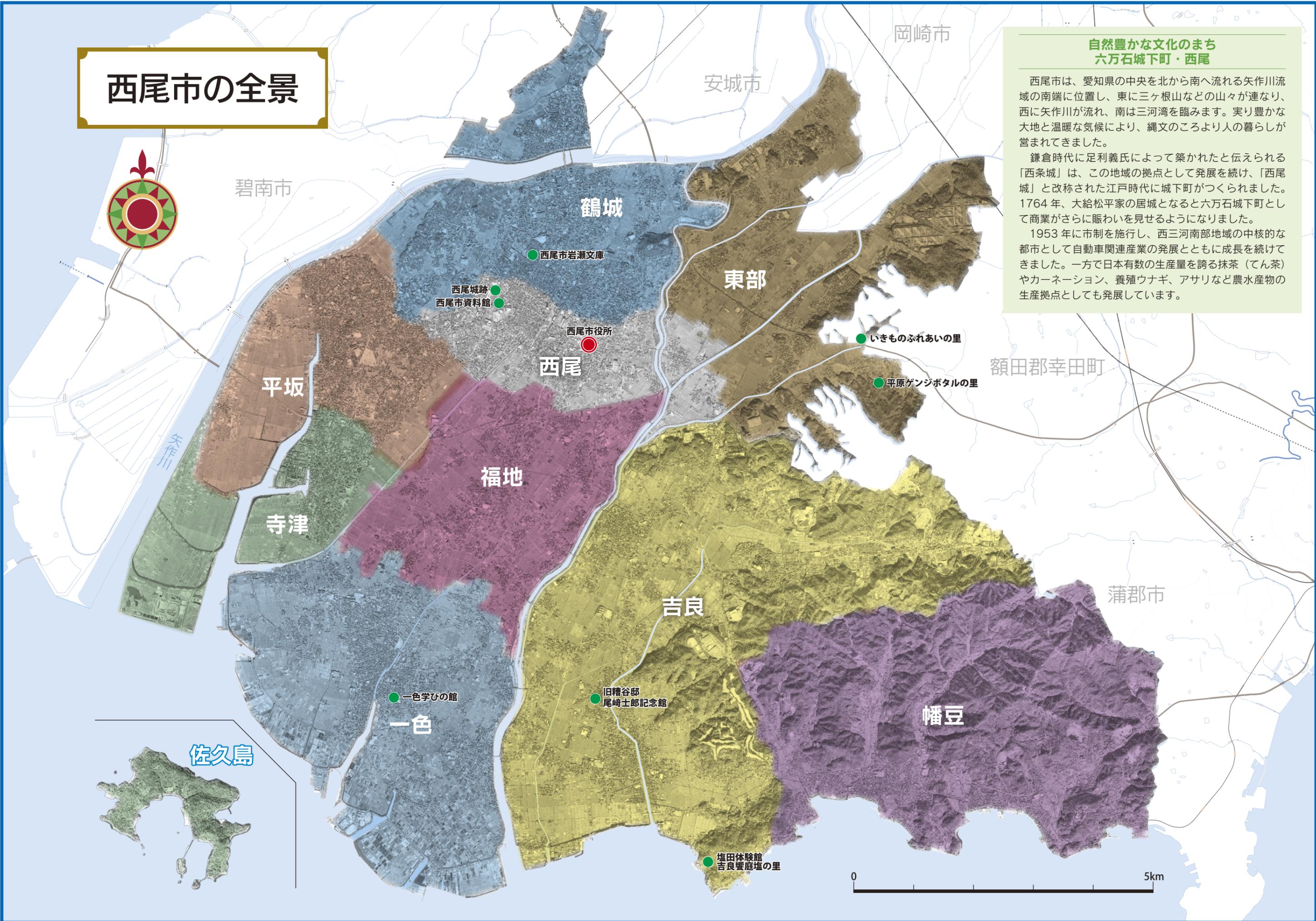
西尾市の全景

自然豊かな文化のまち 六万石城下町・西尾

西尾市は、愛知県の中央を北から南へ流れる矢作川流域の南端に位置し、東に三ヶ根山などの山々が連なり、西に矢作川が流れ、南は三河湾を臨みます。実り豊かな大地と温暖な気候により、縄文のころより人の暮らしが営まれてきました。

鎌倉時代に足利義氏によって築かれたと伝えられる「西条城」は、この地域の拠点として発展を続け、「西尾城」と改称された江戸時代に城下町がつくられました。1764年、大給松平家の居城となると六万石城下町として商業がさらに賑わいを見せるようになりました。

1953年に市制を施行し、西三河南部地域の中核的な都市として自動車関連産業の発展とともに成長を続けてきました。一方で日本有数の生産量を誇る抹茶（てん茶）やカーネーション、養殖ウナギ、アサリなど農水産物の生産拠点としても発展しています。



にしおじょうかく
江戸時代後期(1864年)ごろの西尾城郭と現在の西尾中心市街地



西尾城郭配置図 原画 菅是敬 着彩・CG 杉浦邦彦 (2020年)